

分子科学研究所
生命・錯体分子科学研究領域 榎山グループ

❖ 2019年 夏の体験入学

榎山 儀恵 (准教授) 渡辺 よう子 (事務職員) 菅原 湧斗 (総研大G2) 大石 峻也 (総研大G1)
藤波 武 (研究員) 杉浦 聡 (研究補助員) 堀 達暁 (総研大G2) 大田 陽野 (総研大G1)
大塚 尚哉 (研究員) JONGWOHAN Chanantida (総研大G5) 加藤 雅之 (総研大G1)

【2019年5月現在】



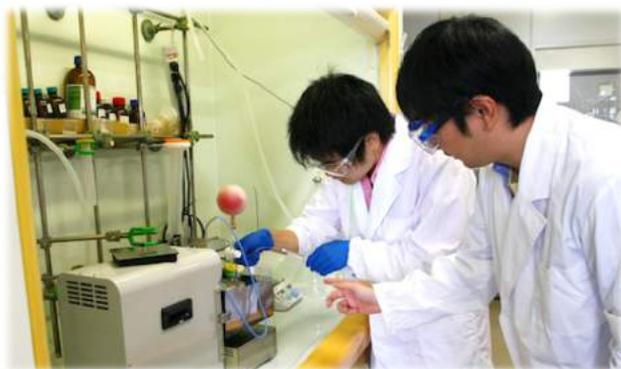
【2015年 夏の体験入学】



【2017年 夏の体験入学①】



【2018年 夏の体験入学①】



【2016年 夏の体験入学】



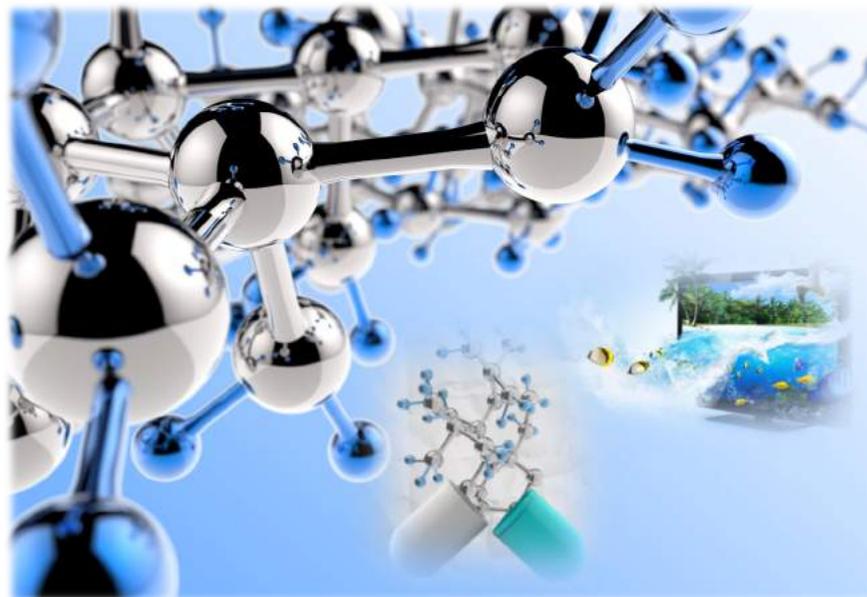
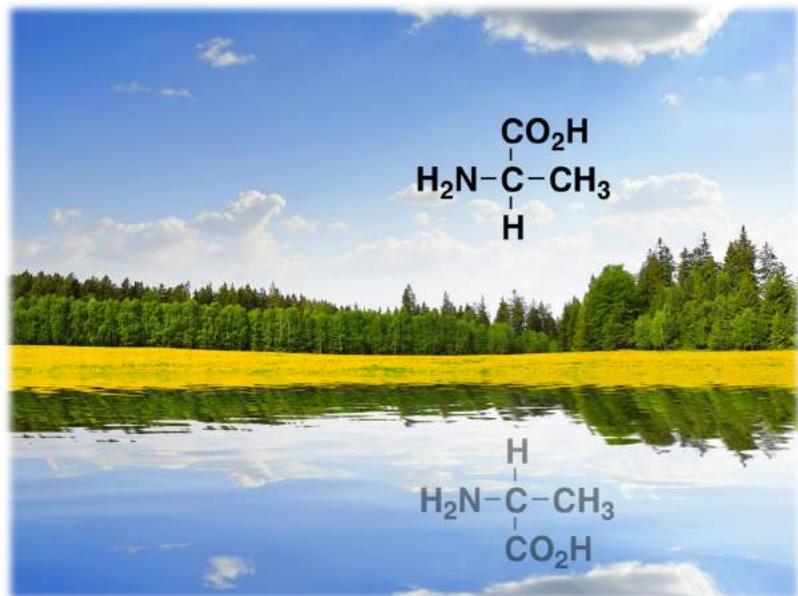
【2017年 夏の体験入学②】



【2018年 夏の体験入学②】

研究紹介

❖ キラル分子・キラル機能性物質のデザイン・合成・機能評価

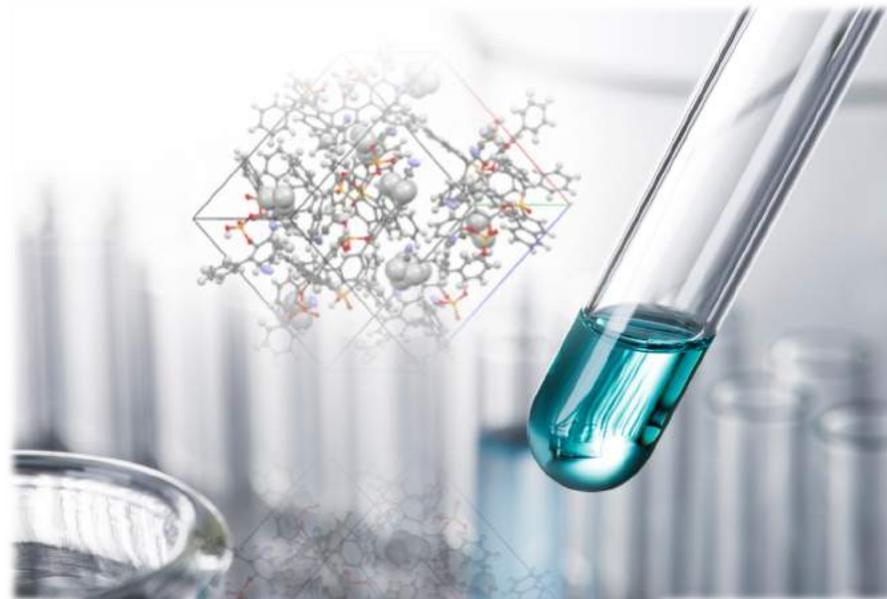
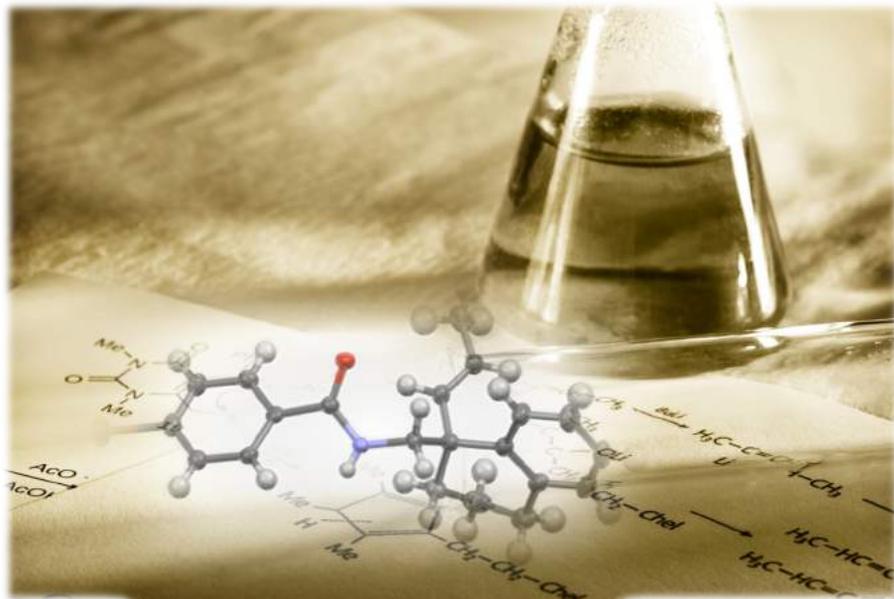


「キラリティー」は、様々な物質の性質を進展させる要素です。物質にキラリティーを組み込むことは、その機能の飛躍的な向上に繋がり、夢の物質を創り出す第一歩となります。私たちの生活に欠かすことのできない物質・材料にキラリティーを組み込むこと、それを可能にする一連の方法論を開発することは、次世代の純粋化学と応用化学の両面、そして材料科学において極めて大きな意味を持ちます。

私たちは、キラル機能性物質開発への応用展開を最終目標に、現在、その基盤づくりに取り組んでいます。独自のキラル分子をデザインし、独自の反応・手法の開発を通じて、独自のキラル分子の合成を進めています。様々な解析手法を駆使して分子の振る舞いを理解し、従来とは異なる分子の性質を見出すことで、新たな機能を有するキラル物質を創り出していきたいと考えています。

体験内容

❖ キラル分子を合成し、その機能を探索する



榎山グループの夏の体験入学では、現在、私たちが合成を進めている分子を実際に合成し、合成することの楽しさを一緒に体験してもらいたいと思います。また、その分子の未知なる機能を一緒に探索し、合成した分子の新たな機能の発見に繋がってもらいたいと思います。

NMRの測定、HPLCでの精製・解析など、研究室で普段使っている装置類を使いながら、キラル分子の合成研究を存分に楽しんでください。

皆さんの参加を心からお待ちしています。